

別紙 1 - 富士通の製品開発向け統合設計環境

製品開発向け統合設計環境は、以下を実現します。

- ・製造業のバリューチェーンに関わる企業間の製品設計データの共有
- ・製品の開発段階における設計品質の検証による製造効率の最大化
- ・製品開発サイクルの短縮による製品デリバリーの迅速化

コンセプト



連携

- 電気製品や機械製品の設計検証用に、設計／シミュレーション向けのツールとデータベースの最適な連携を実現
- 数十億メッシュでの電気製品や機械製品の設計シミュレーションによって、物理的な現象をより正確に捉えることが可能



集約化

- 計算リソースや設計ツール、シミュレーションツールのライセンスの集約により、設備投資や運用コストを削減
- 製品の需要変動に合わせて、設計ツールのライセンスをフレキシブルに提供



クラウド利用

- 設計拠点や事業拠点などの所在地に制限されない、様々なワークスタイルを実現
- 設計データの管理は、高度なセキュリティを備えた信頼性の高いデータセンターまたはお客様のオンプレミス環境を使用



集積化

- 人工知能や機械学習を活用し、集中管理されているデータをもとに製品設計を最適化
- 集積された設計データの分析により、新たなビジネスモデルの創出を支援